

原水爆禁止 2019 年世界大会に向けたメッセージ

皆さまが、日頃から平和の尊さ・大切さを訴え、「核兵器廃絶」の運動を展開されていることに対し、深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、世界で唯一の戦争被爆国である我が国日本は、広島・長崎の惨事を二度と繰り返さない決意のもと、平和憲法を守り「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」の非核三原則を堅持し、世界の恒久平和を全国民とともに願っているところです。

これらの精神を踏まえ、開成町では平成7年に「非核平和都市宣言」を行い、平成24年に平和首長会議に加盟し、子どもに主眼をおいたまちづくりに取り組んでいます。開成町民は、核兵器の廃絶を訴え、恒久平和を求め、安全・安心で豊かな暮らしの実現を切に望んでいます。

昨年の米朝首脳会談における朝鮮半島の非核化を目指す合意は、大きな一歩ではありますが、その実現に向けては不透明であり、今後も見守っていかねばなりません。

皆さまには、戦争被爆国として国や世代を超えて核兵器の悲惨さを伝え、核兵器廃絶という大きな目標に向かって積極的な取り組みを継続していただきたいと思えます。

最後になりましたが、世界大会の成功と、皆様方の益々のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、私のメッセージとさせていただきます。

令和元年 6 月 19 日

神奈川県 開成町長 府川 裕一